まちの話題

羽 再 生

12月10日、 般社団法人日本損 害保険協会より鳥 羽市消防団菅島分 団に小型動力ポン



プ付軽消防自動車1台が寄贈され、配備 先である菅島町にて入魂式が行われまし た。今回で12回目の寄贈となり、寄贈さ れた軽消防自動車は、島の狭い路地に も進入しやすく、火災予防の啓発や消火 活動など、島民の安全・安心のために活 用されます。

域 力 隊と



消

防 自

贈

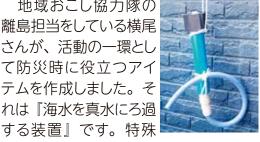
た

だ

ま

た

地域おこし協力隊の 離島担当をしている横尾 さんが、活動の一環とし て防災時に役立つアイ テムを作成しました。そ れは『海水を真水にろ過



な膜を使ってさまざまなものを除去できる ろ過装置で、被災時に海水からトイレ用 などの水を補給するために使います。装 置の多くが島内で使わなくなった家電パ ーツなどを活用して作られています。「身 近な物しも少しの知恵で非常時に「役立 つ物」へと変身させることができますが、 それには日常的な防災への関心が根本 的に欠かせません。



11月30日、海の博物館にて鳥羽小 学校の5年生が、総合的な学習 [鳥羽 っ子学習」の一環として、減少している アマモ場再生への取り組みを行いました。

博物館の平賀館長からアマモについて の説明を受けた児童らは、海水を入れた ペットボトルにアマモの種を植え付け、学 校へ持ち帰りました。

参加した児童は「アマモの種を入れる 作業は楽しかった|「これからアマモ場が 増えるとうれしい」と話してくれました。 育てたアマモの種苗は、3月末ごろに今 浦の砂浜に植えられる予定です。また、 昨年の「鳥羽っ子学習」の発表作品が、 3月31日まで海の博物館にて掲示され ています。



11月22日、鳥羽商船高等専門学校 の学生チームが、第32回全国高等専門 学校プログラミングコンテストの課題部 門で最優秀賞・優秀賞を受賞したことを 受け、受賞報告に市長室を訪れました。 同コンテストは高専生のプログラミング 技術の向上を目的に開催され、同校で最 優秀賞・優秀賞のダブル受賞は今回が 初めてです。